

(様式1)

(記入例)

令和7年9月1日

赤い羽根・物価高騰下のいのちをつなぐ支え合いキャンペーン 「こども食堂」応援助成事業 助成申請書

社会福祉法人 富山県共同募金会長 様

1 団体概要

法人・団体名 ※法人の場合は 法人格も記入	フリガナ トヤマケンコドモシヨクドウノイ		
	富山県こども食堂の家		
代表者	フリガナ タノヒヨウ		トヤマ タロウ
	役職 代表	氏名 富山 太郎	
設立年月日	令和5年 4月 1日		
事務局 所在地 (連絡先)	〒0000-0000	TEL.	0000-0000
	富山県富山市000000	FAX.	0000-0000
		E-mail	0000@000000
応募責任者	フリガナ タノヒヨウ		トヤマ タロウ
	役職 代表	氏名 富山 太郎	
現在(通常)の 活動状況等	毎月第3土曜日に地域の公民館でこども食堂を実施 (費用として中学生以下のこどもからは100円、大人からは300円を徴収 している)		

2 活動名称・助成申請額

活動名称	助成申請額 (万円単位) *5万円以内
*例「こども食堂におけるイベント『0000』開催事業」 (内容を50文字以内で端的に記入してください)。	
例1: 「物価高騰による利用者負担減免事業」	
例2: 「クリスマス大くじ引き大会」	5 万円

3 今年度の活動計画等

活動内容
① 団体としての活動の必要性や、いつ、どのような人々を対象にどのような活動を実施する予定か具体的に記入してください。(スペースが不足する場合は、別紙に記入の上添付すること。)
② 予定される活動(事業)日数、支援件数または支援人数などについて記入してください。
① 毎月1回、こども食堂を実施し、栄養のある食事を提供。また、子ども向けのお菓子等を帰りに渡すことで、継続してきていただけるようにする。 児童・保護者ともに地域の方と交流することで、孤立・孤食を避けるとともに、気軽に行ける場所、相談できる機会を作る。
② 活動日数:合計 12 日 支援人数:延べ 600 (50人×12) 人

本助成金で行う活動(事業)の内容	※ 本助成金で取り組む活動内容について具体的にご記入ください。 例1：昨年度まではこども食堂実施に際し、中学生以下のこどもから100円を徴収していたが、無料にする。また同伴の保護者は、200円とする。 例2：クリスマス時期のこども食堂の際に、大きく引き大会を実施し、こどもも保護者へもクリスマスプレゼントを渡す。
本助成金を充当する経費の必要性	※ 本助成金を活用する必要性についてご記入ください。 例1：これまでは参加にあたり参加費を徴収していたが、本助成金を充当することで参加費を無料ならびに割引し、より多くの方に参加していただけるようにする。 例2：団体の通常経費では用意できないクリスマスプレゼントを準備することで、こどもも保護者も一緒に笑顔になっていただき、交流できるようにする。

5 今年度計画における経費の内訳

【収入の部】 ※例2（クリスマス大きく引き大会を基に作成）

項目	内訳	金額(円)
助成金	富山県共同募金会	50,000円
自己財源		円
利用者負担	参加費	10,000円
その他の収入	寄付	20,000円
合計		80,000円

【支出の部】

項目	内訳	金額(円)
消耗品	プレゼント代 @1,000×50	50,000円
	装飾代	20,000円
	事務用品代	10,000円
		円
		円
合計		80,000円

6 添付書類

1.	団体の規約、会則、定款 のいずれか
2.	役員名簿
3.	2024年度(令和6年度)事業報告書
4.	2024年度(令和6年度)決算関係書類
5.	2025年度(令和7年度)事業計画書
6.	2025年度(令和7年度)収支予算書
7.	その他(広報誌、パンフレット等、活動内容がわかるものがあれば添付してください。)

※記載の事項は、できるだけ申請書にまとめること。ただし、無理な場合は、別紙として添付すること。

※申請書に記載していただく個人情報、本会において適正に管理し、無断で第三者に提供しません。代表者名、担当者名は助成審査に係る連絡等に使用します。